



## 【「運」を味方にしよう】

あつという間に2月を迎えました。ミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、たくさんの感動する場面がありました。3学期は、時間の経過を早く感じる学期です。だからこそ、特に高等部の3年生は、日々を大切に満足できる時間を過ごしてほしいと思います。

では、満足感や幸福感のある時間を過ごすためにどうすればいいのか。大切にしたいいくつかの言葉があるそうです。

「ラッキー」とつぶやくだけで、脳が勝手に幸せの種を拾い集める思考に切り替わっていくそうです。さらに「ありがとう」とつぶやき感謝を言葉にすることで脳は「自分は満たされている」と判断し、ドーパミンが分泌され、モチベーションや集中力が飛躍的に高まるそうです。また、「がんばろう」と声を掛け、自分の利益よりも、だれかを応援し、だれかを支えていると実感したときの方が、圧倒的に粘り強く、高いパフォーマンスを発揮できるそうです。

大谷翔平選手はこれらを実践し、結果にこだわるのではなく、自分の能力の限界を追求しています。進化のプロセスを大事にして「自分史上最高」を目指すことによって、運を味方にできていると心理学的に分析されています。

3つの言葉を意識し、「アフォーメーション(肯定的自己暗示)」を実践すれば、大谷選手の思考法に近づき、運を味方にできます。運を味方にして、幸福感で満たされるように、子どもたちへの言葉掛けを大切にしていきたいと思います。  
(校長 金島 一顯)

## 【今年度最後の学校運営協議会】

学校運営協議会が2月24日(火)にありました。学校評価アンケートをもとに今年度の学校運営に関して協議、いじめ問題に対する取組の報告をしました。また、今年度の反省をもとに、来年度の学校経営計画案について見ていただきました。教育、福祉、就労、環境の班ごとの協議では、それぞれの活動内容の振り返りをし、児童生徒・保護者の方にも参加していただき、感想・意見をいただきました。

○就労班・・・就労先や実習先の協力への感謝やお願い、事業所参観日について。高等部3年生が参加。卒業後、就労先、給料で好きな物を買うことを楽しみに頑張ろうと思っている等の話をしました。

○環境・安全班・・・あいさつ運動、避難所体験、ええ～本の会等の活動への地域の方々の協力、中学部生徒から地域へのプランター配付、B部門児童から「ええ～本の会」の感想を伝えました。

○福祉班・・・まきびカフェ、ホッと相談会に参加した保護者の感想を聞き、まきびカフェでの保護者の方々の繋がりやホッと相談会が校内で相談場所を提供する意義やこれらの継続を確認しました。

○教育班・・・箭田小学校、真備中学校との学校間交流、くらしき作陽大学との交流やボランティアについて、これからも地域防災について情報を共有し合っていくことの確認をしました。

これからも、学校運営協議会のみなさんとともに、人と人、人と地域、人と社会が繋がり、子どもたちや学校が、社会の中で生まれ、また、社会に貢献していく子どもたちや学校になれるよう、よりよい学校運営ができるように努めてまいりたいと思います。  
(副校長 中園 陽子)